

# NSW 土地環境裁判所長官 プレストン判事を迎えて

裁判では法的判断に際し、多様な不定性を内在する科学技術・医療などの専門的知見を利用する必要が生じます。

専門的知見活用のための新しい手法として世界的に注目される「コンカレント・エヴィデンス」を育んだオーストラリア・ニューサウスウェールズ (NSW) 州土地環境裁判所長官として、豊富な経験を持つ Brian Preston 判事の来日を機に、日豪一線の実務法律家が具体的工夫・手法を互いに紹介し、法学者・科学者と共に今後の可能性と課題を明らかにしていきます。

講演

## 専門的証拠のための特別な裁判手続

オーストラリア NSW 土地環境裁判所長官 ブライアン・プレストン

## 専門的知見の獲得のための工夫：座談会方式の経験から

東北大学法科大学院教授 信濃 孝一

## 日本における専門的知見の獲得のための制度と方策：

カンファレンス鑑定、複数鑑定、専門委員、専門家調停

東京地方裁判所判事 岡崎 克彦

## パネルディスカッション

ブライアン・プレストン

岡崎 克彦

信濃 孝一

岡山家地裁倉敷支部判事  
寺田 利彦

東京大学法学部准教授  
米村 滋人

司会

立命館大学法学部教授 渡辺 千原

東北大学大学院理学研究科准教授 本堂 毅

10/24 2014 (金) 10:00-12:30

同時通訳あり

要申込

参加無料

弁護士会館 講堂「クレオ」 東京都千代田区霞が関 1-1-3  
地下鉄霞ヶ関駅 B1-b 出口より直結

お申込み・お問い合わせ

東北大学大学院理学研究科 本堂 毅

sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp tel. 022-795-5823 fax. 022-795-5831

同時通訳レシーバー準備の都合上、事前申込にご協力ください。  
レシーバーは相当数準備しますが、当日参加者への配布は先着順となります。

【対象】 法律家、医学・工学等を含む広い意味での科学者  
科学的専門知の利用に関心をお持ちのジャーナリストや研究者

主催：科学研究費補助金・基盤研究 (A)

「科学技術の不確実性と法的規制—学際的観点からの包括的制度設計の試み」

共催：科学研究費補助金・基盤研究 (A)

「科学の多様な不定性と意思決定：当事者性から考えるトランスサイエンス」

プログラム等を掲載しています：<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/concurrent/>

科学の専門知を  
法廷でどう扱うか？